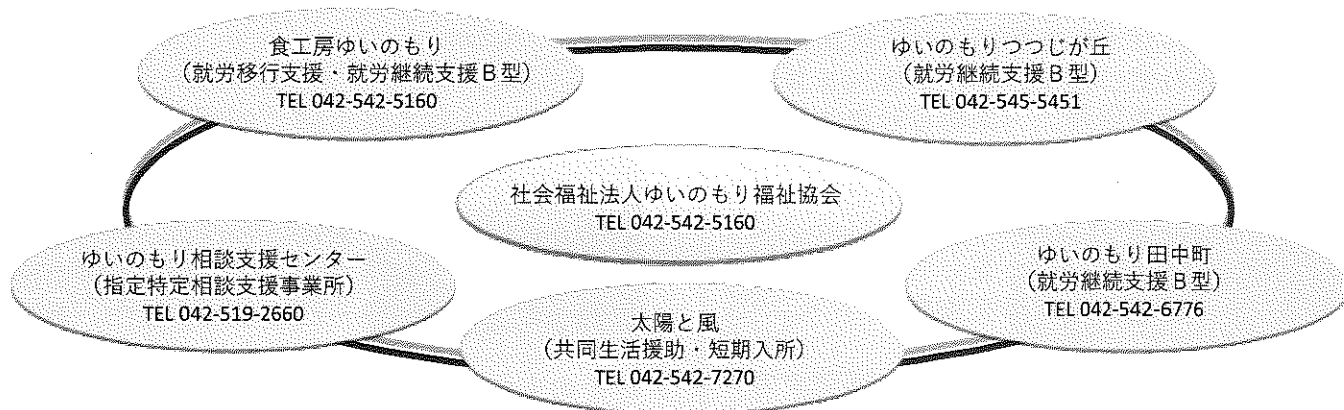


ゆいのもり通信



所在地：〒196-0011
東京都昭島市上川原町1-9-15
電話：042-542-5160



一言報恩 食工房ゆいのもり・ゆいのもりつつじが丘施設長 日向 弘樹

日頃より大変お世話になっております。今年度も新型コロナウイルスと共に迎えましたが、皆様はいかがお過ごしでしょうか。私たちは利用者・職員が協力し、感染予防を実施しながら活動を継続しています。この2・3年で、マスク着用や手洗い・アルコール消毒などが当たり前になりました。その中で、今夏も猛暑が予測されるということで、国からは一定の条件下ではマスク不着用が提示されるようになり、Withコロナと熱中症対策に翻弄されていく今日この頃です。皆様も新型コロナウイルスには引き続きご留意いただきつつ、熱中症対策も忘れずに過ごしていただければと思います。

さて、ゆいのもりは法人が認可されてから早20年を迎えました。これもひとえに皆様のご協力のおかげでございます。この場を借りて改めて、御礼申し上げます。

ゆいのもり福祉協会は、昭島という地をお借りし、ひとりでも多くの当事者の方のお手伝いできればと、地域に根差した活動を続けてきました。日中活動を中心に行って参りましたが、近年は、相談支援センターの開設、暮らしの場としてのグループホームを承継させていただき、日中活動の場の提供と、暮らしのお手伝いもさせていただけるようになりました。そして、昨年度は、当事者と地域のご要望・ご協力もあり、滞在型グループホームとショートステイ事業を開設することができました。御礼を申し上げますと共に、当事者のニーズをまた一つ叶える事業を行えることを嬉しく思っております。

また、今後の展望として、ゆいのもり田中町の移転を検討しており、利用定員の拡大や新規事業を開設することで、より多くの方が利用できる場や新しいニーズに対応できる事業展開を目指しています。当事者やそのご家族が、昭島の地は資源豊かで、生活のしやすい・選択ができる環境と思ってもらえるよう、これからも微力ながら精進して参りたいと思います。

最後になりますが、皆様のご意見やお考えをいただくことで、ゆいのもりは発展し、時には基本（原点）に立ち返るきっかけをいただいております。皆様の一言で、ゆいのもりの歩む道筋が照らしていただけるものだと考えます。その一言に感謝の気持ちを忘れず、今後も精進してまいる所存です。引き続き、応援賜りますよう、よろしくお願い致します。

※一言報恩：ひとこと声をかけてもらったことに対する感謝。声をかけてもらったことを忘れずに感謝するという意味。

ゆいのもり通信No35 目次

- ・「一言報恩」・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ・法人・各施設報告・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～4
- ・新人職員紹介・主任挨拶・・・・・・・・・・・・ 2
- ・職員配属一覧・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- ・2021年度ゆいのもり福祉協会事業報告4～6
- ・2021年度 収支状況等報告一覧・・・・・・・・ 7
- ・ゆいのもりとともに歩む・・・・・・・・・・・・ 8
- ・理事・評議員・監事一覧・その他・・・・・・ 8

法人本部

●滞在型グループホームとショートステイ開設●

理解ある方が建物を建設してくださいました。また長年の協力者である不動産屋さんが間をつないでくださいました。理解者の力で私たちは活動を続けていけます。深く感謝します。

滞在型グループホーム開設以降、入居の希望が多く寄せられています。またショートステイは、ゆっくりできる場、一人暮らしを体験できる場として人気があり、2か月先まで予約がうまっています。

●法人内研修実施●



10月23日に「ゆいのもりの今後を展望する」というテーマで実施しました。全事業所とも利用希望者が減る傾向にあり、安定した利用が難しい方たちが増えてきています。そこで、地域のニーズに応える事業展開は何か、事業展開を支えられるだけの経営力をどう強くしていけるかという動機のもと、現事業の課題、そして私たちの強みと可能性を、事業所ごとで話し合いました。各々の発表では、お互いの苦勞を知ることができました。今後も事業所の見学や、事者の視点からの学習会を通じて、積極的に学んでいこうと思います。(浅川 勤)

食工房ゆいのもり

●東京タワー・葛西臨海水族園へ●

コロナ渦で開催できていなかった日帰り旅行が3年ぶりに実現しました。今回は過去最多の31名（職員含む）が参加し、都内観光を楽しみました。メンバーさん感想の一部をご紹介します。

「長年の入院生活を経て今年にやっと退院できて、こうして毎日食工房さんに通所させていただいたり、自立した生活を久しぶりにすることが出来て、本当にうれしく思っています。今回は大勢の方と一緒におでかけが出来て、とても楽しい一日になりました。ありがとうございました。東京タワーも水族館へ行くのも数十年ぶりでした。私が若かった頃700円だった首都高が2000円近いのでびっくりしました。（それから全く渋滞していないのも...）銀座へ行ったのも十数年ぶりです。街の様子がすっかり変わっていて、わくわくしました。楽しそうでした。」



2022年度 新人職員紹介

小池 康之 (ゆいのもり田中町)

喫茶に除草にと毎日「私は何屋さん？」状態が楽しい反面、まだまだ覚えることがいっぱいであくせくしています。

メンバーさんが安心して内発的に通っていただける田中町にできるよう、少しでも貢献できたらと思っています。よろしく願いいたします。



除草現場にて

2022年度 主任挨拶

原 常雄 (ゆいのもり田中町)

お待たせいたしました！メンバーや職員の皆様のおかげで、ついに！主任に就任いたしました、原常雄でございます。これからもメンバーの皆様と一緒に「ゆいのもり田中町の一員」としてやっていけると思うと、本当に本当に楽しみで仕方がありません。

これからも皆様に助けをいただきながら、次は副施設長を目指したいなと思っています。皆さん！！どうぞよろしく願いいたします。



ゆいのもりつつじが丘

●久しぶりのレクリエーション●

2021年12月17日、久しぶりに外部へ出かける行事を行いました。ラウンドワンスタジアム武蔵村山店で体を動かした後、ブロンコビリー昭島昭和の森店でハンバーグやステーキを頂きました。皆さんメインのお肉がくる前にサラダバーでお腹一杯になり、お肉を食べるのが辛そうでしたが、美味しく頂けたようです。

作業ばかりでは皆さんと楽しく交流するにも限度がありますので行事は少しずつ再開していきたいですね。



●ラジオ体操はじめました！●

各所でラジオ体操等、体を動かすプログラムを始めているとのことで、つつじが丘もブーム？に乗っかり、午後プログラムとしてラジオ体操やDVDを観ての運動をはじめました。参加人数は少ないですが、定着してきたように思います。体型を気にしている職員やメンバーも多いので、気になる方は参加してみてください！

ゆいのもり田中町

●深大寺&喫茶見学レク●

調布方面へ行くレクリエーションを行いました。元々は神代植物公園にも寄る予定でしたが...休園日でした。ごめんなさい（レク担当：原）

気を取り直して深大寺を散策した後は、社会福祉法人新樹会「創造農園」さんが運営する喫茶「空と大地と」でランチを食べました。とてもおしゃれな店内で、出前館などのデリバリーにも対応しており、びっくりしました。「生かせるところは喫茶森でも生かしたいね」と話も盛り上がりました。



●事業計画書を東京都へ提出●

ゆいのもり田中町の移転に向けて建物の図面や備品、どのような事業をやるか等を書類にまとめて提出しています。田中施設長が別の場所に籠って書類作業を進めるなど、とても膨大な作業でした。

田中町の移転計画は、着々進んでいます。移転後のゆいのもり田中町（仮）はどのような事業所になるのでしょうか。綺麗でカッコいい事業所になると良いですね。

職員配属一覧 2022.9.1現在

食工房ゆいのもり

■常勤職員■

日向弘樹(施設長兼任)
半田正博(副施設長)
本橋剛(主任)
外山由佳 赤瀬茉莉
山根敏治

◆嘱託職員◆

澤邊美津子 岡本綾野

●非常勤職員●

吉田浩子 加藤恵子
小西孝 内沼栄子
渡辺恭子 高橋たえ
永山美雪
山本未来香(育児休業中)

ゆいのもりつつじが丘

■常勤職員■

日向弘樹(施設長兼任)
半田潤路(主任)
渡邊清美(主任)
小坂橋良佑 金山幸司

●非常勤職員●

西山雅秀 斎藤浩
堀越志穂 渡辺弥生
高橋竹彦(兼任)
阿部幸夫 蒲沢功
本橋耕一郎
長谷川三千穂
神山美津江

ゆいのもり田中町

■常勤職員■

田中彰(施設長兼任)
原常雄(主任)
近藤貴代子
日向亜侑(兼任)
小池康之

◆嘱託職員◆

皆川さおり 関根あずさ
井梅由美

●非常勤職員●

斎藤弥生 南部名頼

グループホーム太陽と風

■常勤職員■

浅川勤(施設長)
近真之 野田晴子
増川聡美(育児休業中)

●非常勤職員●

高橋優子 奥田明子
橋本陽子 野中明美
常盤郁子 高橋竹彦(兼任)

ゆいのもり相談支援センター

■常勤職員■

田中彰(センター長兼任)
日向亜侑(兼任)

●非常勤職員●

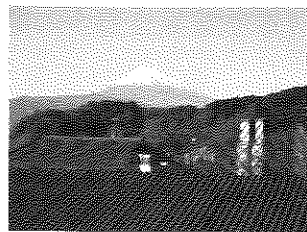
久保稔

グループホーム太陽と風

●みかん狩り●

コロナが若干落ち着いた、昨年12月2日、メンバーさん、OBさん、職員合計24名で静岡までみかん狩りに出かけました。途中、三嶋大社で参拝をし、葦山代官屋敷で豪華な昼食を摂ってからのみかん狩り。甘いみかん、とても美味しかったです。

帰りは、かねふくめんたいパークにも寄り、明太子のソフトクリームやおにぎりも美味しくいただきました。富士山も見ることができ、とても楽しい時間を過ごすことができました。改めて、みんなで出かける楽しみを感じることができました。



ゆいのもり相談支援センター

●開設7年目になりました(2015年4月開設)●

利用者数は53人です(2022年3月末)。サービス利用計画を一緒に考え、市役所に提出します。

●福祉サービスの利用をお手伝いします●

<2021年度 サービス計画 作成結果>

- ・就労移行支援……………0人
- ・就労継続支援A型…0人
- ・就労継続支援B型…50人
- ・共同生活援助(グループホーム)…1人
- ・居宅介護(ホームヘルプ)…1人
- ・短期入所(ショートステイ)…1人

●8050問題の相談が増えてきました●

親御さんからの健康・経済問題、本人からの親が高齢に伴う介護の相談、将来の生活の相談等、本人だけでなく親御さんからの相談も受ける機会が増えました。まだまだ頼りないですが、一緒に考えるお手伝いをさせて頂いています。

①市の健康診断を受ける、②食生活の見直し、③適度な運動で、健康維持に努めましょう。

2021年度ゆいのもり福祉協会事業報告

ゆいのもり福祉協会(法人本部)

法人全体 重点目標	自分らしく、安心して暮らし、安心して働ける地域作りという理念に従い、田中町の移転事業に取り組み、滞在型グループホームとショートステイを新規開設した1年でした。
法人全体 評価と 課題	<ol style="list-style-type: none"> 1. ゆいのもり田中町の移転 移転予定地が決まり、2023年度建設を目指し東京都に施設整備補助金を申請する準備ができた。 2. 滞在型グループホームとショートステイの開設 地域の協力者がグループホームとして建物を建設し、丸ごとお借りすることができた。これまでの通過型に加え、滞在型5名のグループホームを開設した。また初めてショートステイを始めた。グループホームとショートステイともに多くの見学・利用の希望が寄せられている。 3. 財政状況と職員体制 職員の給与を少しずつ改善してきた。また各事業所に主任を配置することができた。その反面、人件費の年々の上昇により事業所によっては予算編成が難しくなっている。2023年度予算編成に向けては、人件費を含め今後の財政方針を事業展開と合わせて考えていきたい。 4. 職場環境懇談会 50代の嘱託職員・非常勤職員が多いことから、将来を見据えた体制づくりという課題を提案された。対策として、業務の複数担当制、属人的業務を減らすことを各現場で進めることとした。また、支援力向上のための研修実施の提案もあり、職員による研修委員会を立ち上げ、研修を策定していくこととした。 5. 課題 ・食工房1階のエアコンの更新 ・利用者皆が集まれるイベント実施 ・職員自らが作る研修実施
その他の 事業報告	<p>(サービス向上) 1. サビ管・相談支援従事者の各研修の受講を進めた。</p> <p>(安定経営) 1. 食工房2階のエアコン更新 2. 70歳まで働けるように定年制を廃止した。</p> <p>(人財育成) 1. 中堅職員による職場環境懇談会実施 2. 新規主任1名配置</p> <p>3. 教育 法人内研修実施 テーマ「ゆいのもりの今後を展望する」。合同職員会での研修報告実施</p> <p>(地域貢献) 1. 福祉ネットワークと自立支援推進協議会 役員として参加</p>

【食工房ゆいのもり】

活動内容	作業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・パンカフェ作業（工房でのパン製造・焼成、カフェ部門での接客作業、役所内・市内高齢者施設での販売） ・館内清掃（館内外の清掃と清潔維持、環境整備に関する作業） ・軽作業（M社缶バッジ安全ピン付け、O社ベアリング組立、D法人ポスティングなど） ・事務業務（工賃・交通費の計算、パソコンでの入力作業、各種書式作成など） 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者ミーティング（月1～2回）、大掃除、定期健診、防災訓練、細菌検査、衛生講習会 ・就労プログラム、就労セミナーなどへの参加、職業センター利用など ・食事会、ストレッチ体操、バーベキューなど 			
事業計画	<p>（サービス向上）＜就労移行支援目標＞・就労者の輩出1～2名以上 ・就労移行希望者の募集 ・他機関との連携 ＜就労継続支援B型目標＞ ・効率的な作業体制づくり ・仕事の創出と作業時間の確保 ・販路の拡大や価格改定の検討 ・冷蔵パン製造と技術アップを目指す ・地域イベントへの参加 （収入確保）＜就労移行＞登録者4名、一日平均利用者2名。＜就労継続B型＞登録者数45名、一日平均利用者27名 （人材育成）1. 研修計画に基づく職員研修の実施（資格研修優先受講：相談支援、就労基礎、人権研修等） 2. 新入職員の育成とフォローアップ体制を整える （その他）・マニュアルの整備 ・職員体制の再検討 ・空調設備の整備 ・原材料等の見直し経費削減 ・食品安全衛生の徹底 ・ゆいのもり相談支援センターとの連携協力</p>				
事業報告	<p>（サービス向上）＜就労移行＞・就労者の輩出することが出来なかった ・B型より就労移行へ移籍1名 ・プチ就労プログラムの実施し就職希望者を増やす・就労プログラムにZOOMを取り入れた面接練習や講義を実施 ・関係機関と連携しながら就職活動の支援を行う。＜就労継続B型＞・利用者の希望シフトに偏りがあるためバランス良い勤務体制を作ることが課題 ・既存取引先からの紹介などによりパンの販路を4件ほど拡大できた ・メンバーが働きやすい環境作り（作業別に工賃の見直しを実施・臨機応変なシフト調整）を行う ・地域イベントに会場とパンの提供を行う （収入確保）就労移行支援登録者は最大2名、一日平均1.5名利用、就労継続B登録者は最大48名、一日平均25.6名利用。 ・原材料の見直しとパン焼き菓子の価格改定を実施 ・通所しやすい環境づくり（精動手当の見直し、交通費支給条件の緩和） （人材育成）・各職員が必要に応じた利用者支援研修その他本人希望の研修を受講・サビ管研修と実習指導者研修の受講済み</p>				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労移行	6人	2人	371人	251日	1.5人
就労継続	34人	47人	6,423人	251日	25.6人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	17,729,774円		5,548,770円	511人	10,858円

【ゆいのもりつつしが丘】

活動内容	作業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・昭島市保健福祉センター清掃、定期清掃（ワックス）、花壇管理、除草作業、駐車場清掃 ・軽作業（リネン、ボール洗浄、ポスティング作業） 手作りのお店「ゆいのもり」（つつしが丘店）の営業 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・食事づくり、弁当注文（不定期開催・月2回程度） ・ミーティング（保健福祉センター清掃/1か月1回、行事のミーティング/1か月1回、食事作りミーティング/1か月1回） ・就労プログラム、就労パソコン講座 ・行事（外食、スポーツ、日帰り旅行、一泊旅行）・イベント参加（いきいき健康フェスティバル等） 			
事業計画	<p>（サービス向上）1. 工賃アップ・引き続き軽作業の赤字幅縮小と半日程度の作業量の確保には継続して取り組みつつ、新規受注作業（リビング新聞配布・GHメアのWAX等）の安定化を図る。また、平均月額工賃10,000円以上を目指す。 2. プレ移行支援継続と就労移行支援との連動の充実を図る。3. 就労パソコン講座の実施と安定化を図る。 （安定経営）1. 新規登録希望者へのPRを行い、事業所利用の目的にマッチした利用者の募集をする。2. 施設長交替および主任2名の新体制による運営を進める。 （人材育成）1. 研修においては、職員個々の業務経験と希望に沿って研修計画を進め、組織として必要な研修修了者も増やす。 2. 保健福祉センター清掃事業を保健福祉センター清掃常駐者と連携し円滑に進める。 （その他）1. つつじ6-114の有効活用 ①相談支援センターとして活用する。②就労パソコン講座実施を継続する。③就労プログラム会場として活用する。2. 職場環境懇談会の課題への取り組みを進める。</p>				
事業報告	<p>（サービス向上）1. 工賃アップに関しては、コロナ禍のため高齢者センターのWAX作業やボール洗浄等一部の作業がなくなることもあったが、新規作業（リビング新聞配布・GHメアのWAX作業）も開拓することで工賃アップとまではいかないが維持することはできた。昨年受託したホエールの花壇管理やエンシスの除草作業も安定して作業が行えている。2. プレ移行と就労移行支援との連動を継続できた（プレ移行登録者は2名）。3. 就労パソコン講座を継続実施し、3名が継続中。 （安定経営）1. 登録者は47～48名で推移。今後はパンフレット等を活用し新規利用者の獲得に繋げたい。2. 役割を分担し他職員とも協力しながら円滑な運営を図ることができた。 （人材育成）1. 研修は、コロナ禍であったものの作業スキル（刈払機講習会等）や支援スキル（就業基礎・相談支援従事者等）が受講することができた。2. 保健福祉センター清掃常駐者と積極的にコミュニケーションを図り、同じ環境（早番）で働くことで情報共有もしやすくなった。また早番等の作業を覚えることで清掃常駐者が欠勤しても協力しながら業務を遂行することができるようになった。 （その他）1. つつじ6-114有効活用においては、①相談支援センターとして活用。②「就労パソコン講座」を毎月定期的実施。③就労プログラムの会場として活用。④午後活動（体操）を取り組み始めた。2. 要望のあった物品を購入し環境整備を実施（空気清浄機や鍵付きロッカーを購入）。朝と昼にミーティングを行い、相談しやすい環境作りを努めた。</p>				
	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
就労継続	30人	47人	6,973人	246日	28.3人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額（A）	工賃支払者延べ人数（B）	平均月額工賃A/B
	13,715,249円		6,963,762円	520人	15,153円

【ゆいのもり田中町】

活動内容	作業活動	<ul style="list-style-type: none"> ・喫茶作業・弁当作業 喫茶森における接客、厨房作業、準備、片付け作業 内部向け弁当作成作業 ・軽作業 箱折り、DM 作業等 ・お菓子（ケーキ等）の製造 ・除草・落ち葉作業 各所年 2～3 回、市内 4 か所および東京税関、災害医療センター ・公園清掃 週 1～2 回、上ノ台公園および拝島緑地広場 			
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・パティシエクラブ 年 3 回のお菓子作りのクラブ活動 ・メンバーミーティング 月 1 回作業と行事について話し合う。記録は交代でパソコン入力し通信を完成する。 ・就労プログラム 月 1 回 3 施設合同 ・防災訓練 7 月、2 月に実施 			
事業計画	(サービス向上) 1. 田中町移転計画の実行 2. 作業の安定運営 3. プレ移行支援強化 4. 工賃 UP に向けての取り組み (収入の確保) 1. 通所者数 1 日平均 22 名 (登録者数 41 名) を目指す 2. 受け入れ積極実施 (人財育成・教育) 1. 研修計画に基づく職員研修の実施 2. 人財育成制度を活用した、目標設定の明確化 (その他) 1. 相談支援との連携 2. コロナ禍における安全管理体制 4. 作業安全管理について				
事業報告	(サービス向上) 1. 借地契約内容に齟齬があり、話し合いをし直した。建物計画も新たに見直した。 2. 軽作業スペースの整備を行い、喫茶事業の見直しにも着手。 3. プレ移行は、次期 4 月より新規登録者を 2 名輩出。 4. 4 月よりメンバー 1 名がグループホーム作業を委託で実施。7 月より時給 UP を実施した。月額平均工賃が約 3,300 円アップ (補助金等の影響もあり) (収入の確保) 1. 通所者数 1 日平均 20.7 名と若干増加した。登録者数は 40 名を越さなかった。 2. 新規受け入れ者 3 名。その他 3 名が体験実施。 (人財育成) 1. 実習指導者研修・野田、相談支援従事者研修・近藤など。 2. 職員面談を定期的に実施した。特に非常勤職員からの意見を吸い上げられるようになった。構想会議を実施し、意見交換をしやすい場を創出させた。 (その他) 1. 日向職員の活躍もあり、相談支援と連携した利用者支援ができ、情報共有もより充実した。 2. 3 月に 3 日間閉所したが、拡大はしなかった。 3. コロナ対策の継続。手洗い・アルコール消毒の強化。				
就労継続	利用定員	契約者数	年間延べ出席者数	開所日数	一日平均出席者数
	20 人	37 人	5,180 人	250 日	20.7 人
工賃状況	総売り上げ		工賃総額 (A)	工賃支払者延べ人数 (B)	平均月額工賃 A/B
	14,455,296 円		5,720,516 円	424 人	13,492 円

【ゆいのもり相談支援センター】

事業計画	・昭島市の障害者等福祉に貢献する。・当法人の支援力向上に寄与する。・関係機関との連携・協力による地域福祉に寄与する。 ・安定経営 同程度のモニタリング数 (135 人) で、収入額の維持を図る。	
事業報告	(昭島市の障害者等福祉への寄与) 昭島市民 47 人 (昨年比+4 人) の福祉サービス利用の計画相談支援ができた。市外は 7 人の計画相談を行った。 (当法人の支援力向上) 受診同行支援 9 人・自宅訪問支援 17 人・入退院支援 3 人。ゆいのもり各事業所の担当と協働で利用者の生活相談ができた。GH の利用者 (5 人) 支援会議に参加。 (関係機関との連携・協力による地域福祉への貢献) 昭島市地域支援協議会の相談部会・防災部会に参加。昭島市業務連絡会 (精神) 参加。ヘルパー事業所との連携で居宅支援の利用合計 8 名。訪問介護は、利用合計 11 名。 (安定経営) 収入 (計画相談給付額約 280 万円) は、約 40 万円増で人件費の 68.9% であった。モニタリングでは会議加算がほぼ取得できた。報酬単価の改定 (基本単価減・加算+) による影響は、件数増で解消した。	
	契約数	計画作成
	53 人	36 人
		モニタリング作成
		95 人

【グループホーム太陽と風】

活動内容	(個別支援) 日常生活相談、買い物・清掃・調理支援、衣類支援、金銭管理支援、服薬管理支援、計画作成、入退居支援、手続き関係支援、通院同行、居室訪問、安否確認、OB 支援、家族支援、支援機関ネットワークづくり (定期的活動) 夕食会、メンバーミーティング、日帰り・宿泊行事、職員会議、防災訓練	
事業計画	(事業目標) 1. 滞在型グループホームとショートステイの運営になれる。 2. サービス管理責任者更新研修を 2 名修了する。 3. 入退去支援を確実にし、空き室が出ないようにする。 (人財育成・教育) 1. 常勤職員全員が入退去時支援と請求事務を習得する。 2. 職員個々の目標設定と研修の計画的受講を進める 3. 定期職員会議にて、支援を共有し、支援力を向上させる。 4. 非常勤職員も含め、特定の職員しかできない業務を減らし、柔軟な業務体制を作れるようにする。 (その他) 1. ゆいのもりの他事業所との交流に努める。 2. ゆいのもり賛助会の事務を担当する。 3. 夕食会の安全衛生の徹底	
事業報告	1. 滞在型グループホームでは相談が多く支援の経験を積み重ねている。ショートステイは利用希望の調整と清掃・宿直の体制づくりに日々奮闘している。 2. 2 名がサービス管理責任者更新研修を修了した。 3. 入退去時支援を確実にしたが新型コロナ感染の影響でわずかに空き室期間が発生した。 (人財育成・教育) 1. 職員の異動があり全員が入退去時支援と請求事務を習得することはできなかった。 2. 研修を計画的に受講し合同職員会で報告を行ってきた。 (その他) 1. 法人業務の賛助会事務を担当した。 2. 夏の夕食会では HACCP を取り入れ食品の安全衛生を高めてきた。 3. 日帰り旅行としてみかん狩りに行くことができた。	
	グループホーム定員	男女比
	17 名	男性 8 名、女性 9 名 (2021 年度末)
	ショートステイ定員	ショートステイ延べ利用日数
	1 名	95 日 (11～3 月の月平均は 16.6 日)
		・年度内新規利用者 8 名 ・年度内利用終了者 3 名 全員単身アパート生活へ移行
		ショートステイ利用契約者
		24 名

2021年度 収支状況等報告一覧

貸借対照表 (2022年3月31日現在) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会 (単位: 円)

資産の部				負債の部			
	当年度末	前年度末	増減		当年度末	前年度末	増減
流動資産	245,645,952	223,834,270	21,811,682	流動負債	14,293,781	13,289,501	1,004,280
現金預金	210,186,286	189,005,269	21,181,017	事業未払金	5,723,928	4,760,432	963,496
事業未収金	34,448,670	33,647,125	801,545	預り金	1,974,255	1,738,000	236,255
原材料	1,010,996	1,181,876	△ 170,880	賞与引当金	6,595,598	6,791,069	△ 195,471
立替金	0	0	0	固定負債	1,967,312	1,210,000	757,312
仮払金	0	0	0	長期預り金	1,967,312	1,210,000	757,312
固定資産	299,848,106	293,593,727	6,254,379	負債の部合計	16,261,093	14,499,501	1,761,592
基本資産	136,966,621	142,116,262	△ 5,149,641	純資産の部			
土地	107,332,361	107,332,361	0	基本金	59,192,923	59,192,923	0
建物	29,634,260	34,783,901	△ 5,149,641	国庫補助金等特別積立金	80,266,963	84,410,468	△ 4,143,505
その他固定資産	162,881,485	151,477,465	11,404,020	その他の積立金	132,309,853	122,029,853	10,280,000
建物	11,037,893	8,333,010	2,704,883	人件費積立金	6,930,000	6,930,000	0
機械及び装置	2,537	35,741	△ 33,204	施設設備積立金	125,379,853	115,099,853	10,280,000
車両運搬具	4,602,653	6,405,369	△ 1,802,716	次期繰越活動増減差額	257,463,226	237,295,252	20,167,974
器具及び備品	10,860,959	10,330,332	530,627	(うち当期活動増減差額)	30,447,974	26,385,875	4,062,099
権利	152,880	152,880	0				
投資有価証券	60,000	60,000	0				
(その他積立資産)	132,309,853	122,029,853	10,280,000				
人件費積立	6,930,000	6,930,000	0				
施設整備積立資産	125,379,853	115,099,853	10,280,000				
差入保証金	40,000	40,000	0				
長期前払費用	275,570	551,140	△ 275,570				
敷金	3,539,140	3,539,140	0	純資産の部合計	529,232,965	502,928,496	26,304,469
資産の部合計	545,494,058	517,427,997	28,066,061	負債及び純資産の部合計	545,494,058	517,427,997	28,066,061

事業活動内訳表 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) 法人名: 社会福祉法人 ゆいのもり福祉協会 (単位: 円)

勘定科目		本部	食工房	つつじが丘	田中町	太陽と風	相談支援センター	合計	内部取引消去	事業区分合計
サービス活動増減の部	収 就労支援事業収益	0	17,729,774	13,715,249	14,455,296	0	0	45,900,319	△ 1,838,339	44,061,980
	収 障害福祉サービス等事業収益	0	62,836,829	55,832,266	46,517,518	53,706,270	2,794,805	221,687,688	0	221,687,688
	収 経常経費寄附金収益	120,000	0	0	0	0	0	120,000	0	120,000
	収 その他の収益	0	14,000	131,150	0	52,200	0	197,350	0	197,350
	サービス活動収益計 (1)	120,000	80,580,603	69,678,665	60,972,814	53,758,470	2,794,805	267,905,357	△ 1,838,339	266,067,018
	費 人件費	157,028	40,393,827	34,229,394	37,104,505	25,643,217	2,005,111	139,533,082	0	139,533,082
	費 事業費	0	6,295,300	2,271,356	2,582,236	2,670,854	1,000	13,820,746	△ 419,500	13,401,246
	費 事務費	3,151,685	4,408,145	6,095,684	7,980,658	17,172,619	23,963	38,832,754	△ 444,344	38,388,410
	費 就労支援事業費用	0	18,273,480	13,644,631	15,116,119	0	0	47,034,230	△ 974,495	46,059,735
	費 利用者負担軽減額	0	49,340	27,840	0	0	0	77,180	0	77,180
費 減価償却費	43,670	7,277,044	2,106,274	984,462	342,371	0	10,753,821	0	10,753,821	
費 国庫補助金等特別積立金取崩額	0	△ 3,869,625	△ 273,880	0	0	0	△ 4,143,505	0	△ 4,143,505	
サービス活動費用計 (2)	3,352,383	72,827,511	58,101,299	63,767,980	45,829,061	2,030,074	245,908,308	△ 1,838,339	244,069,969	
サービス活動増減差額 (3)=(1)-(2)	△ 3,232,383	7,753,092	11,577,366	△ 2,795,166	7,929,409	764,731	21,997,049	0	21,997,049	
サービス活動外増減の部	収 受取利息配当金収益	2,393	566	1,132	630	290	32	5,043	0	5,043
	収 その他のサービス活動外収益	742,020	286,201	290,030	0	336,562	0	1,654,813	0	1,654,813
	サービス活動外収益計 (4)	744,413	286,767	291,162	630	336,852	32	1,659,856	0	1,659,856
	費 その他のサービス活動外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	サービス活動外費用計 (5)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
サービス活動外増減差額 (6)=(4)-(5)	744,413	286,767	291,162	630	336,852	32	1,659,856	0	1,659,856	
経常増減差額 (7)=(3)+(6)	△ 2,487,970	8,039,859	11,868,528	△ 2,794,536	8,266,261	764,763	23,656,905	0	23,656,905	
特別増減の部	収 施設設備等補助金収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 固定資産売却益	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	収 拠点区分間繰入金収益	7,110,000	1,552,336	0	0	0	400,000	9,062,336	△ 9,062,336	0
	収 その他の特別収益	0	1,807,164	1,766,719	1,858,383	1,311,470	47,333	6,791,069	0	6,791,069
	特別収益計 (8)	7,110,000	3,359,500	1,766,719	1,858,383	1,311,470	447,333	15,853,405	△ 9,062,336	6,791,069
	費用 拠点区分間繰入金費用	47,730	3,567,200	2,541,312	1,867,412	943,221	95,461	9,062,336	△ 9,062,336	0
費用 固定資産売却損・処分損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
特別費用計 (9)	47,730	3,567,200	2,541,312	1,867,412	943,221	95,461	9,062,336	△ 9,062,336	0	
特別増減差額 (10)=(8)-(9)	7,062,270	△ 207,700	△ 774,593	△ 9,029	368,249	351,872	6,791,069	0	6,791,069	
当期活動増減差額 (11)=(7)+(10)	4,574,300	7,832,159	11,093,935	△ 2,803,565	8,634,510	1,116,635	30,447,974	0	30,447,974	

ゆいのもりの存在

小野 裕子さん

(ゆいのもりつつじが丘
グループホーム麦メンバー)

■ゆいのもりとの出会いと利用について…

ゆいのもりに入ったのは37歳のころ、と母親から聞きました。当時の記憶があまりなく、詳しいことはあまり覚えていませんが、田中町に入ったこと・エプロンをたたむ作業をしていたこと・歩いて通所していたことを何となく覚えています。

現在は、つつじが丘へ週2回通所し、タオルや防水シートをたたむ作業をしています。

滞在型グループホームへ入居したのは、50歳のころ。つつじが丘へ通所したら、「滞在型」のお知らせがあり、行きたい！！と思いい、担当職員へ相談しました。

ゆいのもり福祉協会 理事・評議員・監事 一覧

(2022年9月1日現在)

- ・浅川勤 (理事長) ・長瀬幸弘 ・池田正
- ・齋藤国彦 ・久保稔 ・田中彰
(以上、理事6名)
- ・高橋由美 ・橋本久貴 ・渡辺おりえ
- ・永井純也 ・屋代賢一 ・加藤博之
- ・笈川信之 (以上、評議員7名)
- ・田中文字人 ・清水厚子 (以上、監事2名)

編集後記

コロナ渦で様々なことが制限される世の中ではありますが、行事など工夫して開催でき、各事業所楽しんでます。なにか良い企画、募集中です！私は久しぶりにメンバーさんと日帰り旅行ができ、いい思い出になりました。(A.M)

牢獄のような所だったらどうしよう・・・など、不安も少しはありましたが、同じくらいの期待もありました。入ってみたら世話人さんは優しいし、楽しい毎日を過ごしています。

■いまの楽しみは…

今は、宝塚のDVDを見ることや、グループホームの仲間とお話、買い物を楽しんでいきます。みんな体調の良いときも悪いときもあるので、助け合いながら、生活をしています。

実家に帰ると、家族から「帰ってきてくれると楽しい」と声をかけられます。良い距離で生活ができていると感じています。

■今後の生活について…

グループホームに入居して、約1年が経ちました。かなり生活に慣れ、経済面での課題に直面するようになりました。今後は経済的にちゃんとしていきたい、と思っています。

大好きな宝塚や姪っ子の成長、グループホーム仲間との買い物やおしゃべりを楽しみながら、ずっとここで安定した生活をしていきたいです。

そのためにも、グループホームで最近始めたラジオ体操に積極的に参加し、健康を維持していきたいと思いいます。人生勉強でした。

(聞き手：野田晴子)

ゆいのもり賛助会へのご協力をお願い

これまで皆様よりご協力いただいた賛助会費は、法人立ち上げ時の借入金の返済、相談支援事業所開設費用などに使わせていただきました。心より御礼申し上げます。

現在、ゆいのもり田中町の移転が大きな課題となっており、まだまだ法人の活動に賛同してくれる方の協力を必要としております。

是非、賛助会への入会・ご協力をお願い申し上げます。

■郵便振替：口座番号00190-0-671647

■口座名：ゆいのもり賛助会

※一口2,000円 (何口でも可)

寄付金控除をご希望の方はご連絡をお願いいたします。TEL:080-3177-7070 浅川 勤